

土佐のまほろば あつたか南国市 ⑪



十大基本目標

シリーズ⑨

人にやさしい

快適環境づくり

人々の生活の価値基準が「量」より「質」へ移行し、豊かで潤いのあるゆとりのある生活を求めています。豊かな自然や緑を生かした住環境の整備などの生活環境整備に努めます。また、人々が安心して暮らせる安全な、人にやさしいまちづくりを進めます。

(1) 上水道の整備

現状の上水道水源は、すべて地下水に依存しています。限りある水資源を有効利用するための節水意識の向上を図り、新たな水源の開発と安定供給を図っていきます。

○未給水区域への配水管拡張など、水道普及率の向上に努める

○水資源の確保に努め、有効活用を図り、対策方法についても検討する

(2) 下水道の整備

快適な住環境として、下水道化・水洗化の普及は重要な要件となります。下水道事業の健全経営を図ることと、良好な自然環境の保護を図ります。

○公共下水道の整備
○農村集落では農業集落排水

事業を促進

○公共下水道や農業集落排水施設の整備地域外の合併処理浄化槽の設置

(3) 産業物の適正な処理

不燃物埋立処分場の処理能力に限界がきています。ゴミの減量化や再生利用を進める取り組みをします。

○地域振興に配慮した産業廃棄物処理施設の整備を県に働きかける

○中間処理施設、最終処分場施設の整備によるゴミ処理体制を確立

○資源消費型の生活の見直し、自家処理の推進、分別収集の徹底、資源の再利用促進など市民総ぐるみのゴミ減量化運動を展開

(4) 環境保全

○本市の特性を生かした環境保全プロジェクトや環境教育・啓発活動

○航空機の騒音について、環境基準の維持を図る。県など関係機関に強く働きかける

○海岸地帯のハエ対策

(5) 景観

○美しい自然景観や河川・街路の緑化、親水空間の整備など魅力ある景観の創出

(6) 公園・広場

○市民の憩いの場として自然を生かし、子どもや高齢者の視点に立った公園・広場の整備

○災害時の避難場所・焼焼防止などの多様な機能を持つた公園・広場の整備

(7) 消防・防災対策

○吾国山文化の森公園を都市型公園に整備

○吾国山文化の森公園を都市型公園に整備

○治水・海岸保全・土砂災害対策を進める

○防災都市を目指し、安全面に視点を置くまちづくり

○自分の生命は自分で守るという認識のもと、近隣などと協力して実態に応じた防災対策や防災意識の啓発

(8) 住宅の整備

○高知空港や高速道路などの火災、災害に備えた広域消防・防災体制の強化

○専門的知識や技術を修得するなど消防力の強化

○救急救命士の養成、救助体制の強化

○女性消防士の育成

○都市計画整備により宅地化を一層促進し、あわせて居住環境の整備を進めていきます。